

平成26年度VOC排出インベントリ検討会の進め方(案)

1. これまでの検討の経緯

平成18年3月の大気環境部会報告「揮発性有機化合物の排出抑制に係る自主的取組のあり方について」において、「VOC排出抑制対策の進捗状況を把握するため、(中略)VOC排出インベントリの整備・更新を行う必要がある」とされた。

それを受け、環境省では平成18年度に揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会を設置し、年度ごとのVOC排出量を排出インベントリとして作成してきた。これまでに作成されたVOC排出インベントリは、基準年度とされた平成12年度に加え、平成17年度から平成24年度までの8年分(基準年度と合わせると9年分)となっている(表1)。

表1 VOC排出インベントリにおけるVOC排出量の推移

年度	VOC排出量 (t/年)	削減率 (対基準年度)
平成12(基準年度)	1,403,379	-
平成17	1,092,594	22.1%
平成18	1,062,260	24.3%
平成19	1,003,781	28.5%
平成20	903,132	35.6%
平成21	817,503	41.7%
平成22	775,522	44.7%
平成23	767,327	45.3%
平成24	736,612	47.5%

注: 過去に遡及してVOC排出量の推計方法を変更したことがあるため、平成23年度までのVOC排出量は、過去に公表された排出量と若干異なっている場合がある。

この年度ごとのVOC排出インベントリによると、目標年度の平成22年度までに「VOC排出量の3割削減」とされた目標を上回る削減率を達成しており、このような状況等を踏まえ、平成24年12月に中央環境審議会から答申(今後の揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制対策の在り方について)がなされた。答申では今後もVOC排出抑制制度を継続することが適当とされ、VOC排出インベントリも継続的に作成・公表されることとなった。

なお、VOC排出インベントリの推計方法を資料2-1に示す。

2. 今年度検討事項

平成25年度までの検討により、VOC排出インベントリに係る課題は着実に解決してきたものの、依然として課題が残されている。このため、今年度は、これまでの調査において残された課題の解決、新たな情報への対応、推計精度の向上、VOC排出量の経年変化の理由の解明等を目標に検討を進める。

各検討会の検討事項は表2に示す。

表2 今年度の検討会における検討事項

検討会	開催日時	検討事項
第26回検討会 (H26第1回)	H27.1.29(木) 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none">● VOC排出インベントリの推計精度向上に関する検討● その他
第27回検討会 (H26第2回)	H27.3.20(金) 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none">● 平成25年度VOC排出量推計結果について● VOC排出量の経年変化分析について● 平成26年度VOC排出インベントリ検討会報告書(案)について